

平群

Heguri



≡ 議会だより

6月定例会 No.232
7月臨時会 平成23年8月1日

発行：奈良県平群町議会

第3回定例会(6月)・第4回臨時会(7月)

議決結果・質疑あれこれ 2～4

決算審査特別委員会 5～6

総務建設・文教厚生委員会報告 7～8

町政を問う！ 一般質問 9～14



竜田川で生息する水生物を観察している課外授業風景

第3回定例会（6月7日～17日）こんなことが決まりました

第3回定例会は6月7日に招集され11日間の会期で開催されました。

初日は、町長提出議案14件、議員提出議案1件、請願1件が上程され、内12件が即決されました。

水道事業会計決算認定案は、6名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置して付託、一般会計補正予算案は総務建設委員会に、請願は文教厚生委員会に付託され各委員会で審議しました。

一般質問は13日に行われ、11名の議員が質問しました。

最終日には、決算審査特別委員会審議結果の委員長報告を受け、報告のとおり賛成多数で原案は認定されました。

一般会計補正予算案の委員長報告は、賛成多数で可決でしたが、本会議では賛成少数で否決されました。

請願は、委員長報告のとおり賛成多数で採択されました。

人権擁護委員候補者推せん の諮問案は全会一致で承認されました。

次に、議員提出議案3件が提出され、条例の一部改正案は、賛成多数で可決、意見書2件は全会一致で可決、また、決議案は日程に追加され、賛成多数で可決しました。

以上で本定例会に付議された議案は、すべて議決し閉会しました。

議決結果賛否一覧 ○は賛成 ●は反対で表示（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	井戸太郎	戎井政弘	奥田幸男	森田勝	植田いずみ	山口昌亮	高幣幸生	窪和子	山田仁樹	繁田智子	馬本隆夫	下中一郎
町長提出議案	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について）	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町立保育所条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町母子医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町営住宅管理条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町小集落改良住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成23年度平群町一般会計補正予算（第2号）について	否決	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	
	平成23年度平群町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町道路台帳構造化業務の請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教育委員会委員の任命に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	固定資産評価員の選任に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度平群町水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
	平群南小学校の存続を求める請願書	採択	○	●	●	○	○	○	●	○	○	●	●	
議員提出議案	人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	否決	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	
	平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	●	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	
	震災からの復興に向けた補正予算の早期編成を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	当面の電力需給対策に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	表決権を行使するに当たり節度ある態度をとることを確認する決議	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
	奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	投票	投票総数12票 有効投票12票 芝 和也2票 高岡 進10票 谷 完二票 堀口 誠0票											

議長は採決に加わりません

質疑あれこれ

6月議会に上程された国保税条例の一部改正及び補正予算の中から主な質疑応答について報告します

国民健康保険税条例の一部改正

国保税「資産割の廃止」の 条例改正を可決

国保税条例の一部を改正する条例は2件一括で審議を行いました。

発議第5号（議員提案）は、医療分についての4方式（所得割・資産割・均等割・平等割）の税率を引き下げる。（表1を参照）

議案第35号（町長提案）は、医療分、支援金分、介護分の資産割額をなくす。（表2を参照）

現行の国保税率

	医療分	支援金分	介護分
資産割	20%	5.5%	5.7%
所得割	7.3%	1.7%	0.9%
均等割	28,000 円	7,500 円	5,000 円
平等割	32,000 円	8,500 円	5,000 円

議案第 35 号（表 2）

	医療分	支援金分	介護分
資産割	0%	0%	0%
所得割	7.3%	1.7%	0.9%
均等割	28,000 円	7,500 円	5,000 円
平等割	32,000 円	8,500 円	5,000 円

発議第 5 号（表 1）

	医療分	支援金分	介護分
資産割	17.5%	5.5%	5.7%
所得割	6.45%	1.7%	0.9%
均等割	24,000 円	7,500 円	5,000 円
平等割	27,700 円	8,500 円	5,000 円

発議者への質問

なぜ、資産割を残したのか。

答弁

この間、4方式で来ており今ままであったからそのままにしているだけである。上げた分の半分を引き下げるといふ点で、そういう税率改正にすれば、分かりやすいし、上がった人全員に引き下げが及ぶということからである。

町当局への質問

なぜ町は、この時期に「資産割を廃止する」という提案をしたのか。

答弁

平成20年の4月に後期高齢者医療制度が創設されそれまでの平成15年から19年までの5年間連続して歳入不足であったが、この間、医療費が予測より伸びなかったことや徴収率も過去にないほど上がり、健全化の兆しが見えてきた。また、昨年12月に示された県国保広域化等支援方針の保険料

統一に向けた取組で「保険料調定額が急増し低所得世帯の負担が大きいため、資産割は廃止する方向で検討」と示されたためである。

発議第5号 反対討論

この発議が出てきた背景には、平成20年度に国保税が引き上げられたが、大幅な増税は見込み違いであったということから端を発している。

ここ2、3年は医療費が見込みほど伸びなかったことも黒字の要因の一つである。結果的に黒字になったから取り過ぎた分を返還するという発想は互助制度の国保税の制度のなかではないと思う。いざという時のために、黒字になった部分は、一定基金として積み立てをしなければならぬと思う。

また、資産割を残したことに對して、資産はあるが現金はないという状況がある。本来資産に課税することとはなじまない認識している。以上の点から、反対する。

賛成討論

20年度の医療制度の改正に伴い、国保の中の支援金をまるまる組み込んだ形で、一人約2万円という大幅な引き上げがされた。3年間赤字決算が続ぎ、22年度決算見込みが1億円を超えるという。20年度、全ての世帯、加入者が引き上がったから、公平公正の立場からいえば、取りすぎた国保税を返すという意味から賛成を返す。

発議第5号 (議員提案)

賛成少数で否決

議案第35号に対する討論

すべての世帯や加入者に引き下げをするべきであるが、先程の議員発議が否決されたので、資産割だけでも廃止するという方向が示され、住民負担の引き下げが行われることから賛成する。

また、数年前のように国保会計が赤字に転落し保険料の引き上げをする事のないよう十分検討し、来年度も更なる改訂をされるよう主張する意見がありました。

議案第35号 (町長提案)

全会一致で可決

小学校再編成に係る

一般会計補正予算(第2号)を否決

今回の補正予算の歳出の主なものは、小学校再編成に係る東小学校改修工事の測量設計費及び用地購入費、へぐり時代祭り事業補助金、父子医療費助成事業費などです。

質問

小学校再編成に伴う、東小学校の大規模改造事業に係る用地購入費の内訳は。

答弁

面積は1,565㎡で、単価は1㎡5万4千円と設定し、総額8千5百万円である。

また、他にも用地購入が必要である。

質問

小学校再編成に伴う補正予算をなぜ今回、計上したのか。

答弁

3月議会以降、一定理解が得られ、住民合意が進んできたと理解したから。

反対討論

町の地理的条件も考慮した教育環境やバランスのとれた今後

の平群の町づくりを考える点からも、このアクションプランに基づき用地購入費、測量設計委託料を計上した補正予算には反対する。

再編後の跡地利用についても見えず、町民全体の理解と協力を得て、推進することが大事で、時間をかけて慎重に審議すべきと考え反対する。

賛成討論

町の将来を担う子ども達の教育環境がどうあるべきかという観点から議論すべきである。

少子化が進み西小学校では近い将来に、1学年7名という小人数の学年ができる。1学年10名を割るような規模が本場に良い教育環境が考えられるべきである。

26年度春に新設校が開校できるよう補正予算には賛成をする。

賛成少数で否決

議員提出議案

平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

提出者 山口 昌亮
賛成者 植田 いずみ

(否決)

平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について

提出者 高 幣 幸 生
賛成者 戎 井 政 弘
// 奥 田 幸 男
// 窪 田 和 子
// 繁 田 智 子
// 馬 本 隆 夫

(原案可決)

平成23年7月1日から平成27年4月30日まで議員報酬を20%減額するものです。

議長 36万円を

副議長 28万8千円に
31万円を

議員 24万8千円に
29万円を
23万2千円に

震災からの復興に向けた補正予算の早期編成を求める意見書

提出者 山田 仁 樹
賛成者 森 田 勝

(原案可決)

当面の電力需給対策に関する意見書

提出者 山田 仁 樹
賛成者 森 田 勝

(原案可決)

表決権を行使するに当たり節度ある態度をとることを確認する決議

提出者 繁田 智子
賛成者 戎井 政弘
// 高 幣 幸 生
// 窪 田 和 子

(原案可決)

平成22年度水道事業会計 決算審査特別委員会委員長報告

去る6月7日、第3回定例会
本会議において、当委員会に付
託を受けた、平成22年度平群町
水道事業会計決算の認定につい
て、次の通り報告します。

水道事業内容

給水件数は7676件で、21
年度より46件（0.6%）の増
となりました。

年間総配水量は232万4
996㎥で、21年度より2万1
705㎥（0.9%）の増となり、
有収水量は210万6167㎥
と21年度より1万4863㎥
（0.7%）の減となりました。
有収率は90.6%と21年度に比
べ1.5ポイントの低下となっ
ています。

また、県営水道の受水量は、
189万4952㎥と21年度実
績より3万1111㎥の減とな
りました。

決算の状況

収益的収支では、営業収益
4億4173万6076円、営
業外収益2972万2707円
で、収益全体では4億714
5万8783円となりました。

一方費用では、営業費用が
4億4930万5348円、営
業外費用で751万9005
円、費用全体では4億568
2万4353円となり、収支差
し引きで1463万4430円
の純利益となりました。前年度
繰越欠損金が1億5739
万9940円計上されており、
結果1億4276万5510円
の未処理欠損金となり翌年度に
繰り越すことになりました。

資本的収支については、収入
（工事負担金）が1067万
4588円、支出が建設改良費
と企業債償還金の合計
3008万2972円となり、
194万8384円の支出超過
となりましたが、損益勘定留保
資金及び、資本的支出の消費税

をもって補填されています。

審議の主な内容

質問

管路台帳の電算化と
総延長について。総延
長が15万2184mとなってい
る。昨年度と比べて1万875
5m増加した要因は何か。

答弁

22年度に新たに電算
化による整備を行い全
町について埋設している管の口
径50mmから500mmまで口径
別、管種別に延長を明記して
いった中で、誤差が生じたもの
と思われる。

質問

危機管理の強化とい
う点からも、口径と管
種だけでなく埋設年や耐用年
数、費用等を入れる必要がある
のではないか。

答弁

一定のデータは入力
しているが、将来にわ
たる更新も含めてシステムの構
築をし、更新が計画的に出来る
ように整備をしていきたい。

質問

前年度より自己水が
増えて、県水が減って

いるが今後の見通しについてど
うか。

答弁

自己水の依存率は現
在20%である、年々自
己水が低下している中で、浚渫
（しゅんせつ）工事などをする
ことなるべく確保していきたい。

質問

災害が起きた場合、
データのバックアップ
体制ができていのかどうか。



藤城池

答弁

水道庁舎の中にバッ
クアップデータを保存
している。管路は年1回更新し
ており、委託先の会社にもデー
タを持っている。

質問

老朽管の交換につい
て計画的に行われてい
るのか。
また、老朽管の割合や耐震化
ができていない管の割合は把握
できているのか。

答弁

下水道工事に伴って
の入れ替えは現在、竜
田川ネオポリス、竜田川団地で
行っており、春日丘でも新たに
管の入れ替えを行っている。

老朽管・耐震化ができていな
い管の割合も、システムを改修
して結果が出たら議会に報告す
る。

質問

有収率について、20
年度では前年比0.4
ポイント、22年度は前年比1.5
ポイントダウンしている原因は
何か。

答弁

一番大きな原因は、
昨年、若葉台と緑ヶ丘
で赤水が発生し、それを除去す
るために消火栓等での放水を

行ったことと、公道の漏水が考えられる。22年度では60箇所の公道の漏水があり、主に緑ヶ丘、榎原、初香台、吉新であった。

質問

22年度末で1223万6709円の未収金がある。未収金対策はどのようになっているのか。

答弁

悪質な滞納者は31件、本当に困窮しているのは6件ある。滞納者からは確約書をとっている。全く払っ

ていないという人はいないが、毎月確約通りに納めてもらっていない、また確約どおりに入れてもらっても、現年分が滞ることがあり、未収金がなかなか減っていかないという状況である

質問

一種のモラルハザードがおきている。公平公正の原則から、6カ月滞納したら止めるという要綱どおりに対処すべきではないか。

答弁

要綱に基づいて催促、督促、停止の予告、最終は停止というように、去年は36件催告書を出して、停止の予告が35件、最終的に給水停止したのが9件ある。それに伴い約53万円の徴収ができた。今後、人的な体制はもちろん、十分収納体制を整えて、要綱に従って粛々とやっていく。

質問

給水工事負担金が、当初予算より約364万円の減収となっているがなぜか。

答弁

当初予算では、13mmで10件、20mmで70件ぐらいの新築があるだろうと予測していたが、22年度では、13mmで10件、20mmで50件、地域では榎原22件、菊美台20件、西宮8件、その他10件だった。

質問

収入の部で下水道工事に伴う工事負担金があげられているが、なぜか。

答弁

下水道工事に伴う分については埋設の年数や減歩率という計算方式に基づ

同意

教育委員会委員の任命

森井恵治氏を教育委員会委員に任命することを全会一致で同意しました。



住所
奈良市

固定資産評価員の選任

山中淳史氏を固定資産評価員に選任することを全会一致で同意しました。



住所
奈良市

人権擁護委員候補者の推せんを承認

塩野善彬氏は、適任であるとの意見で答申することに決定しました。



住所
平群町福貴

反対討論

いて負担金をもらって工事を行っている。

22年度から県水の単価が立方当たり5円下がった。県水受水量約934万5千円下がった分は、本来住民に還元すべきものとする。

決算でも1463万という純利益が出ていることから、この分を引き下げても黒字決算になる。

住民負担を少しでも、軽減していくという姿勢が見られないことから22年度決算については反対する。

賛成討論

ここ4、5年続けて決算で純利益をあげられて頑張っている。ただ未納問題を早期解決すれば、更に純利益もあがってくると思う。

法的に従ってやっていくことを願って賛成する。

採決の結果、挙手多数により原案どおり認定することに決しました。

決算審査特別委員会

委員長 繁田 智子

総務建設委員会委員長報告

平成23年度

平群町一般会計補正予算（第2号）

さる6月7日、本会議で総務

建設委員会に付託を受けた平成23年度平群町一般会計補正予算（第2号）についての審議結果を報告致します。

本議案は歳入、歳出の補正額1億2,534万6千円の補正予算でした。

審議では民生費福祉医療費の62万1千円補正、商工費では観光費400万円、土木費平群駅周辺整備事業費の222万6千円の補正、さらに教育費大規模改造事業費の1億1,850万円の補正でした。

審議の主な内容

質問

観光費では、時代祭りの会計報告がなされているのか、県や町が補助金を出しているのか、その範囲内で監査が必要ではない

か。

答弁

当然、適正な執行に努めていきたい。

質問

土木費平群駅周辺整備事業費で、臨時職員を町が雇うのは何故か。

答弁

この事業は、組合施行だが地権者と組合のパイプ役は町である。より高度で専門的な知識が必要で、的確にスムーズに事業を進めるため、町の責任として臨時職員を雇用した。

質問

教育費大規模改造事業費では、主に小学校再編成のアクションプランについて。

プランを進捗する為の、東小

学校用地購入費と大規模改修に伴う測量設計費を、何故、本年度当初予算に計上せず、6月補正で対応するのか。

答弁

再編成に対する請願が住民から出され、教育委員会は各学校に出向き保護者と意見を交換したい、話し合いの機会を持ちたい。その話し合いの期間に、予算だけ計上するというのは問題があると判断した。

質問

町長の権限で当初予算で出さなかったのは何故か、今回の補正で出してきた理由に整合性が無い。

一番大事な南小と西小の廃校について、保護者の理解を得ていないのでは。

答弁

反対の方が全てでなく、南小の方から存続して欲しいと特に声が上がっているのは十分承知しています。

しかし、再編成を願っている保護者もあり、議員各位には適切なご判断を願いたい。

反対討論

この補正予算案は小学校再編成を進める補正であり、この問題は住民合意が基本的に得られていない。小学校統合は問題が多すぎる。特に南小の保護者の大半は反対で、残して欲しいという意見である。町の地理的条件や、今後の町づくりをバランスのとれたものにする意味から、子ども達の教育環境が今以上の悪化に繋がりにかねません。問題点が多く再編成を進める本補正予算は反対せざるを得ません。

何故、急ぐかの議論であるが、教育委員会が一日でも早く良い環境を作りたいのは理解するが、慎重にするべきです。

それと町議会議員選挙も含めて議会の動向もある意味察するが、再編成についてはもっと住民の声を真摯に受け、対応するべきだと指摘をして反対します。

賛成討論

学校再編成についていろいろ意見がありますが、再編成される学校に子どもを通わすPTAさんの気持ちは分かるが、適正

な規模の学校が望ましい。

今後は少子化が進み、延ばせば延ばすほど1クラスの子どもの数は減ります。一日でも早くという声もあり、再編成は26年度の2校という方針にぶれなく実現するよう期待をして補正予算に賛成します。

時間をかけた計画だと思えます。提言とプランに乖離があるという指摘もあるが、早くこの計画を進めていただきたい。

尚、南小の保護者が非常に心配される通学路の安全性の問題は、並行して解決に向けて努力をして欲しい。

スクールバスも必要ですが、必ずしも学校が近いから安全とは限らず、事件も起きます。

そのことから今回の一般会計補正予算については賛成を致します。

採決の結果、本案については賛成多数で原案通り可決することになりました。

総務建設委員会

委員長 高 幣 幸 生

文教厚生委員会委員長報告

「平群南小学校の存続を求める請願」

去る6月7日平群町議会第3回定例会本会議において、当委員会に付託を受けました請願第3号 平群南小学校の存続を求める請願の審査結果を報告いたします。

請願の要旨は、平群町立小学校再編成アクションプランを見直し、平群南小学校の存続を求めるものです。

質疑では、今回の請願に対する理事者側の所見を質され、4年間をかけて町民の皆さん、地域の皆さんの代表、学校の先生方、など沢山の皆さんの英知を結集した小学校再編成検討委員会の提言を基に作られたアクションプランなので、見直し撤回することとは考えていない、平群町の子どものための教育環境に現実に一番適した案で自信を持って提案させていただいているとの答弁がありました。

理事者側へ跡地問題について

質され、非常に重要な問題で跡地の利用について、地域の方々が本当に地域の活性化も含めて、ご納得いただける、そういう跡地の利用という観点から、町民の方々と議会からも提案をいただくことが望ましいので、具体的に今の段階で町や教育委員会からの提案は考えていない旨の答弁がありました。

提言の中で、再編成を進めるにあたっては議会や地域住民の意見を聴取し理解と納得のうえであるが、何をもちて納得を得たと考えるのかとの質問では、最終的に議会での議決をいただくことが納得だというふうに考えているとの答弁がありました。

検討委員会の答申にあたっては、財政的なことは言わないで、と言いながら、それを踏襲したアクションプランになっていない。答申を無視した形になっている。それであるなら、アクションプランについて検討委員会の意見を聞くべきではないかと質

され、提言の趣旨を逸脱するようなプランを策定したわけではないので、意見を聞く必要はないと考えている。との答弁がありました。

アクションプランの見直しを求める請願が2度にわたって出されている。全く見直す考えはないのかと質され、基本的にはアクションプランの柱である校数と、場所については、プランどおり進めたいとの答弁がありました。

討論では、教育行政というのは5年10年15年先を見据え考えなければならぬ。5年あまり色んな方々が再編成の委員会等々やっていただいたことが、一定の民主主義である。その提言をアクションプランに作り上げた。これによって、平群を担う子どもたちが一層学問に励む施設を作っていたら、それが地域住民の方の活性化につながる。との意見や、東小学校、西小学校、そういう学校の思いもあり、敢えて今、南小学校の存続だけに賛成は示せないなどの反対意見がありました。

南小学校を存続させる176名の方から請願が出ており、そ

れに重きをおき住民の思いには議員は応えるべきとの意見。また、民意は大切にしなければならぬ。5年後10年後に今回のアクションプランが生かされることを願い、今の段階での民意は請願に示されているものと考えたとの意見がありました。

めなければならぬ。子どもたちの将来と、町づくりに大きな影響を与えるもので、時間をかけて慎重に審議することが大事など賛成の意見がありました。

審査の結果、請願第3号は、挙手多数により採択すべきものと決しました。

文教厚生委員会
委員長 植田 いずみ

請願文書表

受理番号 第3号 受理年月日 平成23年6月1日

件名 平群南小学校の存続を求める請願書

請願の要旨

要旨 平群町立小学校再編成アクションプランを見直し、平群南小学校を存続させること。

理由 東小学校よりも建築年度が新しい南小学校を平成26年4月に廃校にするというアクションプランは、地域住民や南小保護者の合意がとれていません。再編成にともない地元地域から小学校が無くなれば、急速な過疎化は避けられず、ますます少子化がすすみます。子育て世代に定住してもらって、地域に子どもを増やしていくためにも、地元地域の小学校を存続させることは必要不可欠です。

請願者代表 奈良県生駒郡平群町竜田川3丁目11番24号

畠 紀代江 他175名

紹介議員 森田 勝 山田 仁 樹

植田 いずみ 山口 昌 亮

付託委員会 文教厚生委員会

町政を問う！一般質問一覧

馬本 議員	1. (仮称) 平群駅前東線の拡幅を 2. 「かしのき荘」の建て替えを	森田 議員	1. 平群町幼稚園等の移転について 2. 「花いっぱい運動」の導入について
山口 議員	1. エコ対策として防犯灯をLED電灯に切り替えを 2. 地域経済活性化に役立つ住宅リフォーム助成制度の創設を	山田 議員	1. 鳴川路線の安全対策と改良拡幅について 2. 若い世代の定住促進について
植田 議員	1. 住宅用火災報知器の設置義務化について 2. 介護保険制度について 3. 学童保育の充実について 4. 子どもの医療費助成制度の拡充について	奥田 議員	1. 平群町内東西方向の広域幹線道路建設が必要について
戎井 議員	1. 平群駅周辺整備事業について	繁田 議員	1. 西向の町有地売却裁判「町が勝訴」の詳細について 2. 防災諸品の備蓄状況と今後の補充計画について 3. 学校の安全・安心について
井戸 議員	1. 教育環境及び小学校への要請について 2. 学校再編成が平群町に与える影響について 3. 公共施設の耐震化の信憑性、各自治会の耐震化について	高幣 議員	1. 北部地域の交通政策（バス）について 2. 竜田川駅前開発について 3. 固定資産税の見直しについて
		窪 議員	1. 災害に強い安心・安全の町づくりについて 2. 「自治体クラウド」の導入について



馬本 隆夫

「かしのき荘」の建て替えを

質問

かしのき荘については、昭和57年10月の開所より、長寿会や各種団体の活動拠点として、また高齢者の健康増進とふれあいの場となっている。一方、利用者数も年々増加しており、今後、高齢化率が高くなるとともに、利用者の増加が予想されるが、施設の老朽化と機能や設備が不足しているように思われる。

町の発展に貢献され、行政が「お礼を伝えたい方」である高齢者のみなさまが楽しみをもって生活できるように、新しく「かしのき荘」を建て替えてはどうか。

答弁

かしのき荘の利用者は、昨年度4万人を超え

今後の課題として「建て替え」と「大規模改修」のいずれかを十分調査検討して参りたい。



エコ対策として 防犯灯をLED電灯に



山口 昌亮

質問

東日本大震災は、原子力エネルギーの危うさを改めて警鐘し、世界は原子力発電から自然エネルギーへの転換に大きく動き出している。

また、脱原発で当面、わが国は電力不足が予測されることから、これまで以上に、エコ対策を、あらゆる分野で強化することが重要になる。

町内に2696基（町管理576、自治会管理2120）ある防犯灯を、現在の蛍光灯からLED電

灯に順次切り替えてはどうか。

電力消費を大幅に削減できるだけでなく、初期投資も含めた15年間の経費比較でも、LEDに切り替えた方が町管理で750万円、自治会管理で



2800万円もの経費節減になります。

答弁

電気代や維持費の節減や地球温暖化防止対策にも効果があることから、LEDへの切り替えは必要と考えているが、多額の初期費用などの経費面の課題や、LEDが日々進化していることなどから、年次計画での整備や様々な手法を研究して取り組んでいきたい。

学童保育の充実について



植田 いずみ

質問

学童保育料の大幅な引き上げで、学童の人数が大幅に減少している。

保育料が4倍になったのに、サービスは一向に変わらない。

フルタイムで働く親にとってはお迎えに行くのが大変だとの声を聞く。保育所と同じ7時半までの延長が必要ではないか。

また「保育料の負担が大きいので学童をやめた」という保護者の方々

答弁

からは、学童での一時保育を求める声も聞かれています。どのように考えているのか。

指導員は複数体制を基本にしてローテーションを組んでいます。

延長時間となると複数配置を維持するためには指導員の増員が必要になり、

財政上の理由からも保護者へ新たな負担を考

えなければならぬ。

就学前も含めた保護者への調査



をおこない、ニーズの把握をしたい。

一時保育についても、県下で実施している自治体が無い状況で、部屋の問題や保育料の問題など課題を検証し、安全面を重視して前向きに考えていきたい。

平群駅周辺整備事業について

質問

- ① いま何を、どこまで、何時までに、どの程度行おうとしているのか、その進捗状況は。
- ② 駅前の商店をいち早く撤去した理由は。
- ③ 家屋撤去後の駅前広場を仮整備し、駐車場に提供しては。
- ④ 事業の進捗状況をPRしては。

答弁

① 駅正面から国道までの



戒井 政弘

約2haは既に仮換地指定が済み、造成工事の準備中。概ね年内完了が見込まれ、家屋の建築が始まる。

続いて駅前線の北側の換地説明を始め、順調にいけば第2回仮換地指定が夏頃に、23年度中に全域を、以降随時造成工事となる。

② 25年春に駅前広場完成の計画との関連。

③ 仮換地指定後の土地は使用収益停止が掛かっており、仮といえども、使用出来ない。7月には造成工事着手の予定。



④ 以前3カ月に一度程度「未来の風」と題した機関紙を出していたが、現在休止している。

PRは非常に有効と考えるので、組合事務局と協議する。

公共施設及び各自治会館の耐震化について



井戸 太郎

質問

東日本大震災により、平群の住民の方々も、防災の意識が高まっています。

そこで、改めてですが、今ある主な公共施設の耐震化の状況を、その信憑性・安全性とともに、お聞きしたい。

また、防災本部、避難場所となっている各自治会の集会所、自治会館等の耐震性、耐震率についてお聞きしたい。

各自治会役員でも知らない方が多いようだが、行政として、これまでどうされてきたのかお聞きしたい。

答弁

公共施設の耐震化率は、新耐震化基準ですと、



62%耐震化されており、平群中学校体育館、人権交流センターなど、まだ耐震化調査をされていないところがあります。信憑性については、専門家に依頼しているので大丈夫と言えます。

各自治会の集会所等は、56%（19棟）耐震化済みであります。未耐震は44%（15棟）です。集会所等は、耐震化費用において半額、町が負担するといった補助規定があり、資料を配っています。

「平群幼稚園等の移転」 について



森田 勝

質問

平群幼稚園は老朽化が著しく、建て替えが急務で10年来の課題で、理由は別として先送りした結果、最近では小学校再編成に絡めて平成27年春までに移転する事になっている。予定通り移転しないと駅周事業の完成に影響を与える。

そして、南保育園も老朽化が著しく、未だ耐震改修をしておらず、土石流危険箇所立地しているのにも関わらず、西宮、

と南保育園を一体化した施設を、小学校再編成後使われなくなる南小跡か西小跡を第一義的に考えているが、小学校再編成が住民合意、議会の理解が得られなければ、直ちに財源・用地の確保に取り掛ける。

ただ、幼保一体化施設について、国から具体的な方針が示されていない。

②③平群駅周辺整備事業の関係で平成27年4月の開園を目指している。

答弁

①平群幼稚園



鳴川路線の 交通安全対策について



山田 仁樹

質問

鳴川路線の起点と都市計画道路平群西線の交差点改良についてお聞きします。東山駅方面から斎場へ向う為に右折する、たばこ、ジュースの販売機のある交差点です。

職員による12時間の鳴川路線の交通量調査では、約1800台の通過実績があったと報告されました。

それほどの通行量にもかかわらず、その交差点については、優先道路等

の目安となる一旦停止などの標識、停止線もないのが現状です。

大きな事故も発生しているようですが、危険な現状を回避するためにも、センター

ラインの引き通しや停止線等の優先道路明示による交通安全対策が一刻も早く必要ではないでしょうか？

答弁

一旦停止等の規制については、西和警察と協議しているが、認可が下りていないのが現状で





奥田 幸男

平群町内、東西方向に

広域幹線道路の必要性

質問

平群バイパス道路は、

日増しに車両が増加して交通渋滞が発生しています。都市計画マスタープランにもあるように、今後大和都市計画の区域区分および、用途地域変更に伴い、バイパス沿道市街地環境の形成を図る計画の認可がおりた場合、なおさら交通渋滞が予想されます。これを解消する為には東西方向の広域

答弁

幹線道路東西線が必要であります。

東西線につ

いてはトンネルを含む約三キロの新設道路となることから、費用対効果を踏まえながら、将来的な課題と考

えている旨の回答をいただいている事を報告します。

バイパスの完成、樺井橋の架け替え、県道樺井王寺線の道路整備事業の完了時を想定した場合、南北の道路事情は現在より遥かに利便性が高まる



一方、東西道路については未整備であり、東西線の新設は郡山方面や大和中央道へアクセスする広域幹線道路として必要不可欠であると考えております。引き続き早期の事業化に向け要請します。



繁田 智子

西向の町有地売却裁判 「町が勝訴」の詳細

質問

西向の町有

地売却で町が訴えられていた裁判で、原告の請求を全面棄却との報道があった。

①当該地売却までの経緯

②原告側の訴

えの主な内容

③裁判官が訴

えをすべて棄

却した理由、

特に、原告の

「杭基礎工事をすれば建築の制限を受けない」という主張について裁判官はどのような判断をされたのか。

答弁

当該土地は鑑定を取り

最低入札価格を1093万5千円と決めて、インターネットによる一般競争入札に付し、平成20年2月、最高入札価格で落札者を決定、売買契約をした。

原告はこの価格を不当に低額であるとして、町長に損害賠償請求するとともに、鑑定士に過失があると訴えていた。

判決では鑑定は適正であり、町長にはなんら違法性はない。原告の主張には理由がないとして棄却された。また、杭基礎工事によって技術基準を満たさない本件擁壁の安全性が回復されるものではなく、原告の主張は採用されなかった。



固定資産税の 見直しについて



高幣 幸生

質問

22年度一般会計決算予想を町長は財政安定化に向かっているとの事であります。この事は町民各位の税や福祉・教育面等での協力の賜物です。

町議会も財政安定を目指し、議員報酬の20%削減を図り、協力は惜しみません。一日でも早く固定資産税を標準税率に戻すべきであり、その見通しについて尋ねます。

見込みである。

この3年連続の単年度黒字を今後も大きく安定的に続け、明るい町づくりをしなければならぬ。今、一番、大切な時期である。

勿論、一定の見通しがつけば、超過税率0.18%についても、一定の税率減額、解消を含め考えなければいけないのが当然であるが、今、暫くこの財政状況をつかり見極めていきたい。

答弁

町民の皆さまのご協力をいただき7年ぶりに脱却できた。議会、町民の皆さまにご報告とお礼を申し上げます。

しかし、今、町を取り巻く環境は厳しい。日本全体が厳しい中、本町も個人住民税、法人税も大きく減収の



災害に強い安心安全の 町づくりについて



窪 和子

質問

東日本大震災の教訓を無にしない為にお尋ねします。

①防災計画の抜本的な見直し②町内15か所の避難場所の耐震化と今後の整備目標③防災備蓄④学校や広域避難地の中央公園・北公園の防災機能の向上を⑤被災者支援システムは、罹災証明書や義援金の交付等に迅速に対応でき、21年3月議会まで一般質問し、同年10月より導入。運用内容と全職

員への周知や訓練実施を⑥太陽光発電パネル設置の補助制度の導入を。

答弁

①平成24年度の改正に取組む。

②人権交流センター、中央公民館、椿井公民館南保育所の4か所が未耐震。

小中学校は平成26年度に耐震化が完了予定。整備計画を進める。

③現物備蓄と流通備蓄を進める。

④余裕教室等を利用し備蓄品を分散。公園も含め国の補助金を活用し機能向上に努める。



⑤住基データ等を毎日自動更新し、避難所情報や災害時要援護者データやGIS機能を追加。8月頃からシステムの周知と訓練実施。

⑥国県の補助制度を周知し、今後の動向を見て対応したい。

第4回臨時会（7月15日）こんなことが決まりました

第4回臨時会は7月15日招集され、補正予算案2件、議員提案1件が上程されました。農業委員会委員の任期満了に伴い、農業委員会等に関する法律による委員として議会より4名の推薦をしました。また、選挙管理委員会委員及び補充員の任期満了に伴い各4名の委員を指名推選しました。

議決結果賛否一覧

○は賛成 ●は反対 △は退席で表示（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	井戸 太郎	戎井 政弘	奥田 幸男	森田 勝	植田 いずみ	山口 昌亮	高幣 幸生	窪 和子	山田 仁樹	繁田 智子	馬本 隆夫	下中 一郎	
出 議 案 町長提	平成23年度平群町一般会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	●	●	●	○	○	●	○	○	議長は採決に加わりません	
	平成23年度平群町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
出 議 案 議員提	高幣幸生議員に議員辞職を勧告する決議	否決	○	●	●	○	○	○	△	●	○	●	●		
選 挙	農業委員会委員の推薦について	推薦	結果は、下表をご覧ください												
	選挙管理委員の選挙について	指名推選													
	選挙管理委員補充員の選挙について	指名推選													

議会から推薦された農業委員

氏名	住所
猪川純司	平群町櫛原625番地
藤枝靖典	平群町福貴234番地
山口昌亮	平群町福貴1049番地の39
山田仁樹	平群町若井407番地の2

質問
東小学校の用地購入費はアクションプランに基づくものなのか。今、急いで購入する理由

今回の補正予算の主なものは、東小学校大規模改造事業の用地購入費、時代祭り補助金、災害復旧費（9か所）などです。

一般会計補正予算（第2号）を可決

7月臨時会に上程された補正予算の中から主な質疑について報告いたします。

質疑あれこれ

選挙管理委員会委員

氏名	住所
井田和夫	平群町西宮3丁目14番44-12号
西山正清	平群町櫛原528番地
安田朝四郎	平群町梨本742番地の13
白井忍	平群町福貴畑546番地

賛成討論
町は6月議会の結果を受け小

反対討論
少子化の中で、今なぜ用地拡幅をしなければならないのか。教育環境整備のためと言いながら、具体的にどのような整備をしていくのか、青写真を示していない。

反対討論

東小学校の教育環境を整備するためのものである。平群駅周辺整備事業の仮換地が23年度中に終了する予定。換地後は買収が困難になるので、それまでに購入したい。

答弁

は何か。

選挙管理委員会委員補充員

順位	氏名	住所
1	高塚保夫	平群町西宮3丁目4番37号
2	吉田知子	平群町信貴畑1369番地
3	水船徹	平群町菊美台2丁目23番17号
4	米田美知代	平群町三里777番地の7

議員提出議案
高幣幸生議員に議員辞職を勧告する決議
提出者 山口昌亮
賛成者 植田いずみ
(可否同数)
議長裁決により否決

議員提出議案

東小学校の教育環境を整備するための用地確保が必要であり、他にも住民の生命と財産を守るために大事な予算が盛り込まれている。

賛成多数で可決

町の話 題



戦国武将、嶋左近の古城はいずこ？ 道を開き、今よみがえる樗井城跡

山城ブームの今、古き城跡を蘇えらせたいと、地元の樗井城跡整備管理組合（阪口昌弘組合長他47人）が中心となり、町の協力を得て、登城口の整備がすすんでいます。

嶋左近は戦国史を紐解くと、大和郡山の豪族・筒井氏の侍大将として活躍、後に長浜城主となった豊臣秀吉公の忠臣・石田三成の戦略知恵武将でありました。

樗井城から嶋左近が眺めたであろう、信貴山城の景色を眺めてみたいものです。

（写真は登城道の地図をさす、阪口組合長）



研修レポート

「鬼の眼」をもって
より良い紙面を

7月11日～12日、本誌編集委員の窪、高幣、繁田の3名が、近畿市町村広報誌セミナーに自主研修で参加しました。

①読者を惹きつける見出し

②見やすいレイアウト

③簡潔で分かりやすい文章

④写真の対象とアングル

⑤取材と企画の仕方等々

現役記者や編集者から講義がありました。

行政の広報と違って、議会だよりの場合、独自の企画や特集は馴染みにくく、記事も固定的になりがちで

す。皆様に「読みやすい、分かりやすい、面白い」と言っていただけの紙面にするために、私たち一人ひとりが「鬼の眼」を持って、読者の立場で紙面を厳しくチェックすること―「これぞ編集の極意」と確信しました。

（繁田 記）

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

毎日暑い日が続いていますが、皆さまお元気で過ごしてでしょうか。節電の夏。熱中症には気を付けて、無理のない範囲で、取り組みたいと思います。みなさまどうかご自愛下さい。

さて、議会だより編集委員会も、新しい構成メンバーとなり、これからも、「読みやすい、分かりやすい」紙面づくりに取り組んでまいりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

窪 記

発行責任者

議長 下中 一郎

議会だより編集委員会

委員長 窪 和子

副委員長 繁田 智子

委員 戎井 政弘

森田 勝

植田 いずみ

高幣 幸生